

# Web サービスに関する調査研究

99H024 梅津 考司

## 1 はじめに

近年インターネットの急激な普及により、インターネットを利用するビジネスが増えてきている。そのようなビジネスに使われている技術の中に Web サービスがある。Web サービスとは一体どのようなもので、Web アプリケーションとの違いや、どのような技術を利用し、現在どのような事ができ、そして今後どのようなようになって行くのかを考察をした。

## 2 Web サービスについて

Web サービスとはインターネットを利用するサービスを動的に利用して、複合的なサービスが利用できるものである。たとえば、旅行のことを考えてみるとインターネットでホテルを予約したり、飛行機の予約をしたり、などのことを自分でサイトを探してひとつひとつやらなくてはいけない。しかし、Web サービスが本格的に実用化するとインターネットを利用し旅行ポータルサイトにリクエストすると自動的にそれぞれのサービスにアクセスして予約したり支払いしたりしてくれるようになる。つまり、いろいろな単独のインターネットを利用するサービスを連係して使えるしくみである。

## 3 Web サービスに利用されている技術

- XML(eXtensible Markup Language)…システム同士が交換するデータの記述に用いるための言語。ユーザが独自のタグを指定できるメタ言語の一種である。
- SOAP(Simple Object Access Protocol)…XML と HTTP などベースとした、他のコンピュータにあるデータやサービスを呼び出すためのプロトコル (通信規約) である。
- WSDL(Web Services Description Language)…XML をベースとした言語仕様で、Web サービスがどのような機能を持つのか、それを利用するためにはどのような要求をすればいいのか、などを記述する方法が定義されているものである。
- UDDI(Universal Description, Discovery and Integration)…企業各社がインターネット上で提供している Web 技術を応用したサービスに関する情報を集積し、業種や名称・機能・対象・詳細な技術仕様などで検索可能にする仕組みである。

## 4 まとめ

Web サービスはまだ現在では初期の段階にあるが、今後普及していくにつれて、ビジネスにおけるインターネットの本格活用を推進すると考えられる。例えば、レンタカー会社が航空会社と在庫データベースを共有すれば、ユーザはインターネットで旅行の計画を立てる際に航空会社の Web サイトからレンタカーを簡単に予約でき、すべての関係者にとって時間とコストの節約につながると考えられる。